

ご説明用資料

(K - 4 配管及び容器の超音波探傷検査関連)

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

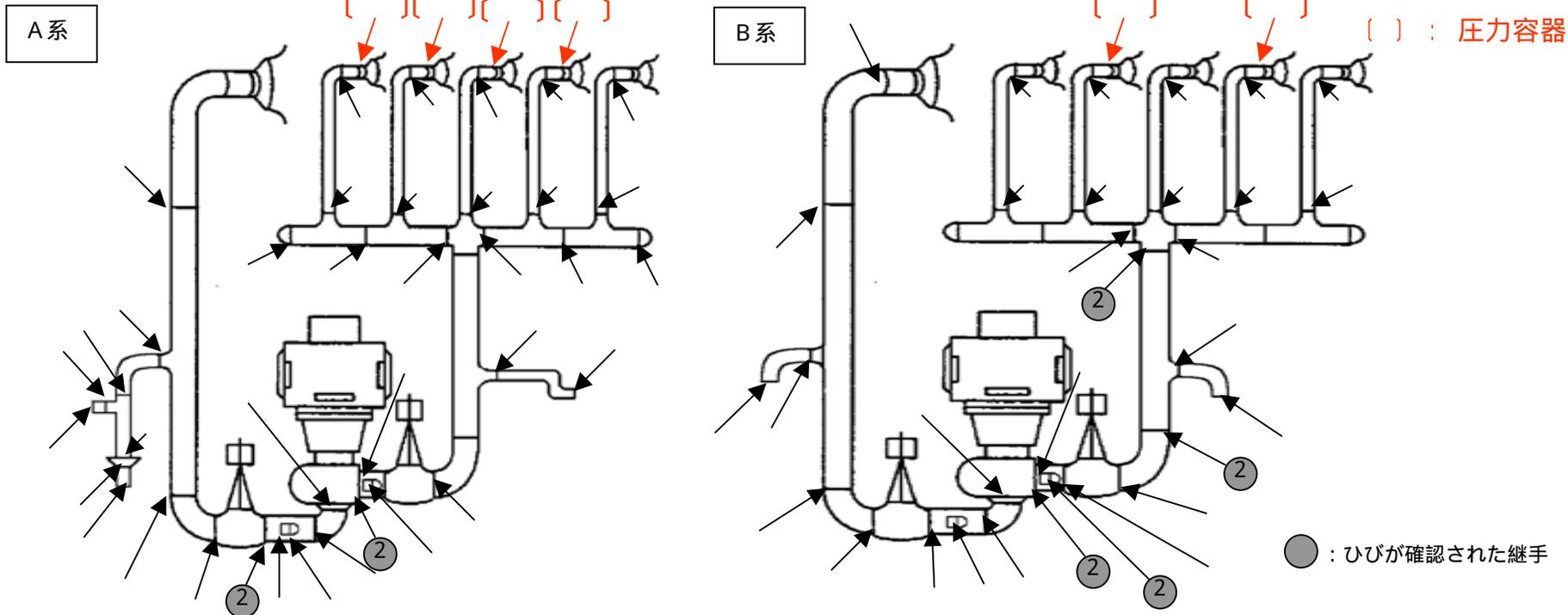
平成15年7月17日・31日

目次

- 1 . K - 4 第7回定期検査での点検状況
- 2 . K - 4 過去5年間の点検箇所
- 3 . ISI実施フロー
- 4 . 距離振幅補正曲線 (D A C)
- 5 . 超音波エコーの分類

参考: K - 4 点検実績と今後の点検計画

1.K-4 第7回定期検査での点検状況

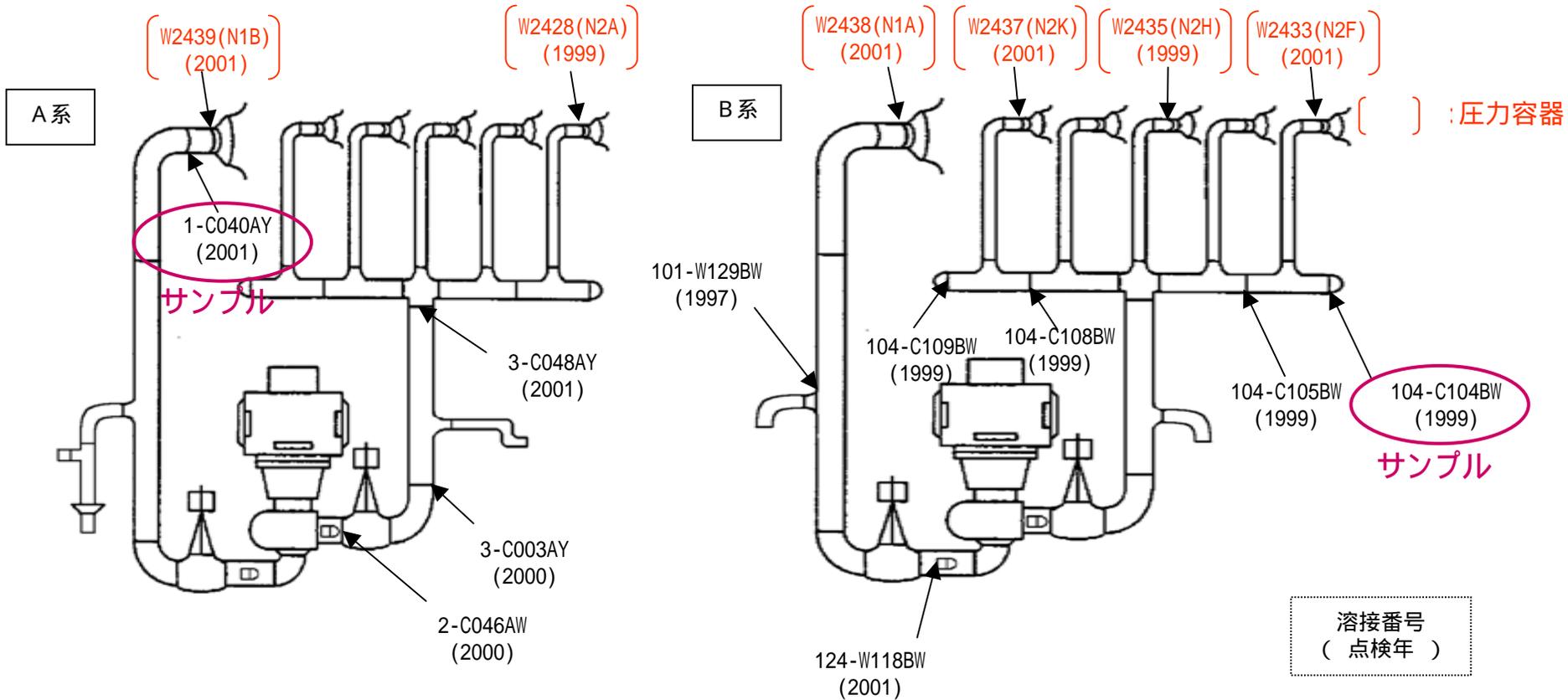


配管	点検箇所内訳	過去に欠陥指示が確認された箇所	供用期間中検査を実施していない箇所	点検後5年を経過している箇所	供用期間中検査	点検数 / 総継手数
配管	A系	0	28(2)	6	3	37(2) / 41
	B系	0	31(4)	0	0	31(4) / 37
						68(6) / 78

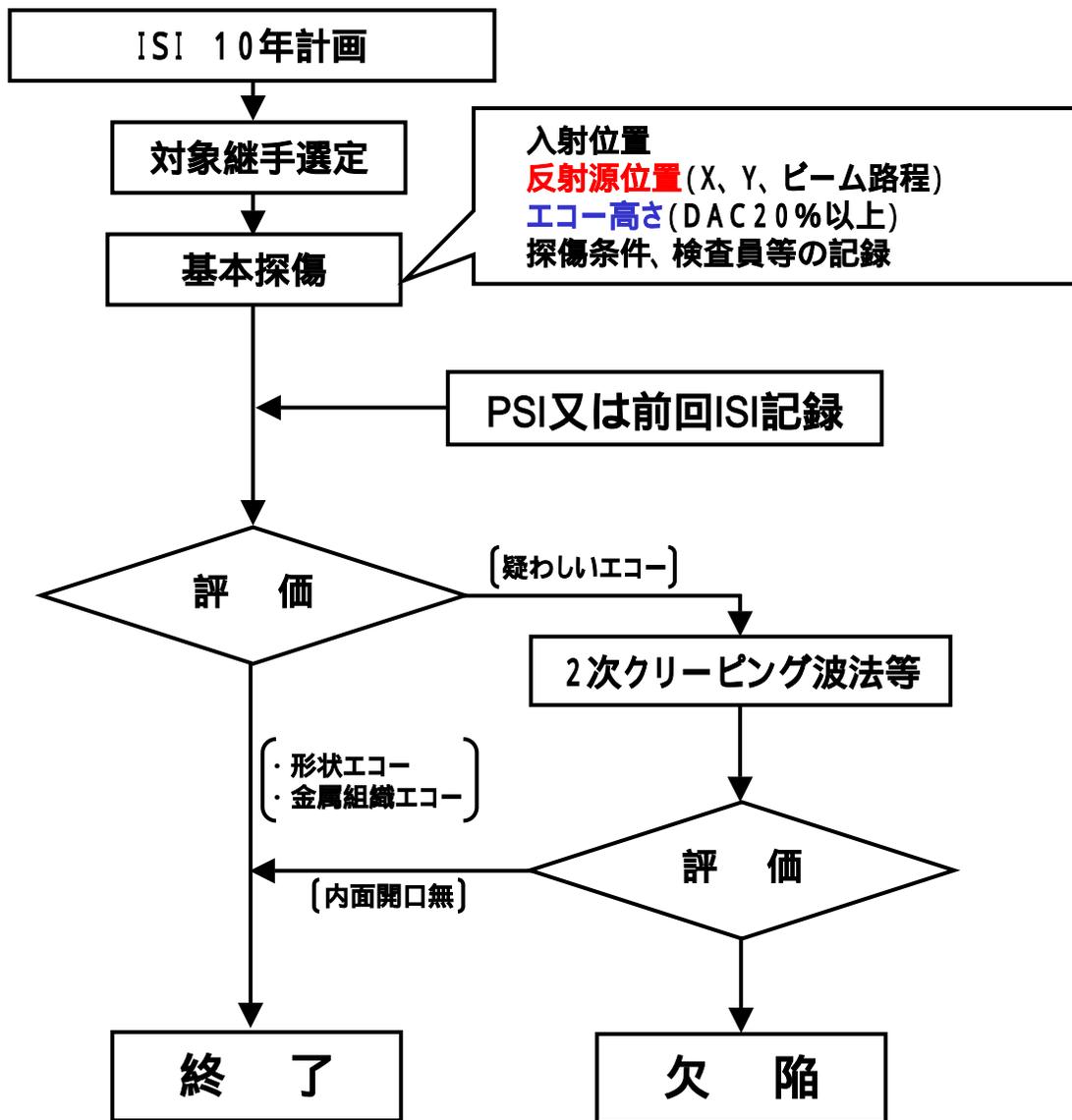
()内はひびが確認された継手

容器	A系	0	1	3	0	6 / 12
	B系	0	1	0	1	

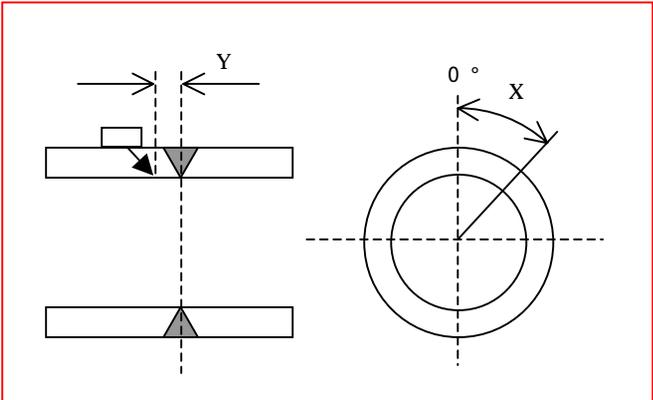
2 . K - 4 過去5年間の点検箇所



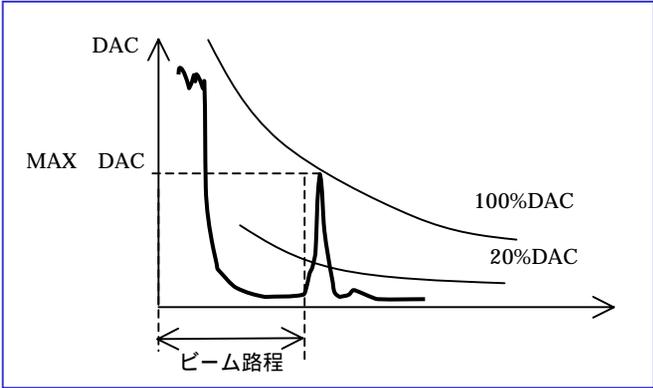
3. ISI実施フロー



入射位置
反射源位置 (X、Y、ビーム路程)
エコー高さ (DAC 20%以上)
探傷条件、検査員等の記録

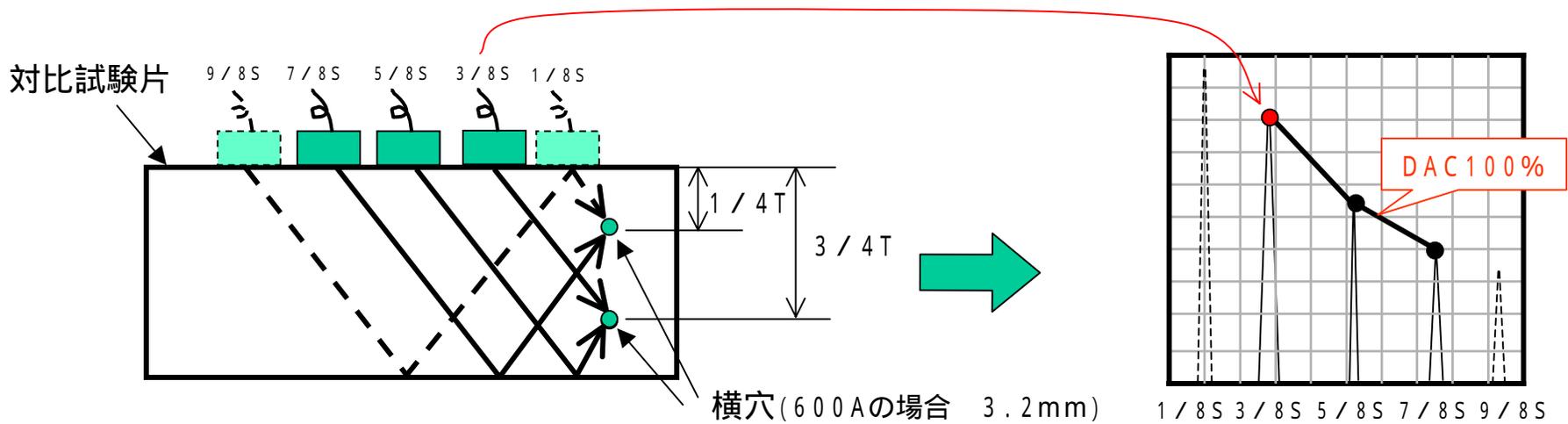


反射源位置



エコー高さ, ビーム路程

4. 距離振幅補正曲線 (DAC)

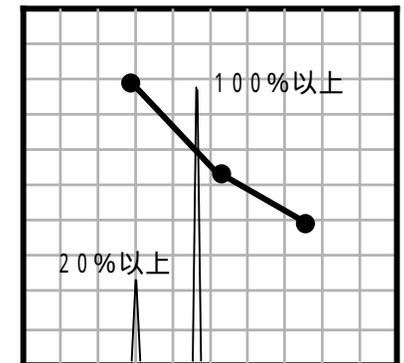


【参考】

記録レベル: DAC 20%以上で記録作成

判定基準: DAC 100%以上の指示長さが板厚の1/3以内
【溶接技術基準より】(形状エコー、金属組織エコー以外)

探傷例



5. 超音波エコーの分類(反射源の分類)

形状エコー
裏波部エコー等



運転に伴う変化なし

金属組織エコー
柱状晶伝搬エコー等



運転に伴う変化なし

ひび等からのエコー(有意なエコー)

SCCのひび等によるエコー



運転に伴い発生

